



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月10日

上場会社名 株式会社プラコー 上場取引所 東
 コード番号 6347 URL <http://www.placo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒澤 秀男
 問合せ先責任者 (役職名) 総務・経理部部长 (氏名) 山崎 正彦 (TEL) 048-798-0222
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,686	1.5	116	86.5	123	114.1	157	236.0
28年3月期第2四半期	1,662	△12.7	62	34.6	57	35.2	46	19.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年3月期第2四半期	5.83		—					
28年3月期第2四半期	1.73		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,665	643	24.2
28年3月期	2,622	485	18.5

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 643百万円 28年3月期 485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,638	5.2	243	87.6	242	93.5	256	179.0	9.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページの「2. サマリー情報(注記情報)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	27,152,585株	28年3月期	27,152,585株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	52,944株	28年3月期	52,944株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	27,099,641株	28年3月期2Q	27,100,375株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和策により企業収益や雇用情勢は改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、新興国経済の減速や英国のEU離脱問題等の不確実性の高まりにより、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社の関係するプラスチック加工業界は、プラスチック原料価格の低下により、積極的な設備投資を展開する動きがある一方、既存機械の補修等により新規設備投資を控える動きもある現状です。

このような状況下、営業面では、インフレーション成形機事業においては、汎用フィルム成形機や押出機等の受注が順調に推移しました。ブロー成形機事業においては、自動車部品を中心として精力的に受注活動を行いました。また、生産面では、海外外注生産の改善活動を推進させるとともに、国内仕入先と協力して生産性や品質の向上に努めた結果、懸念材料でありました大型機械のコスト改善につながりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は、予定されていた一部の大型成形機の売上計上が生産スケジュールの変更により、第3四半期会計期間以降の計上予定となったことから当初予想より減少しましたが、16億8千6百万円となり、前年同四半期と比べ2千4百万円増加(前年同四半期比1.5%増)いたしました。利益面につきましては、仕入コスト、外注加工費の低減に加え、設計、加工段階での効率化が進んだ結果、営業利益1億1千6百万円(前年同四半期比86.5%増)、経常利益1億2千3百万円(前年同四半期比114.1%増)となり、法人税等調整額の計上を経て、四半期純利益1億5千7百万円(前年同四半期比236.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

流動資産は、前事業年度末に比べて2.6%増加し、1,960百万円となりました。これは主に、現金及び預金が75百万円、棚卸資産が94百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が186百万円減少したことなどによりです。

固定資産は、前事業年度末に比べて1.1%減少し、702百万円となりました。これは主に、有形固定資産の新規取得6百万円がありました。減価償却費12百万円により6百万円減少したことなどによりです。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて1.6%増加し、2,665百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて1.5%増加し、1,424百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が84百万円増加しましたが、前受金が71百万円減少したことなどによりです。

固定負債は、前事業年度末に比べて18.8%減少し、597百万円となりました。これは主に、長期借入金が119百万円減少したことなどによりです。

この結果、負債は前事業年度末に比べて5.4%減少し、2,021百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて32.7%増加し、643百万円となりました。これは主に、第2四半期純利益157百万円計上したことなどによりです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、平成28年11月1日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、今後の経営環境により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響額はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	664,426	739,682
受取手形及び売掛金	965,036	778,211
製品	152,120	16,615
仕掛品	64,965	301,144
原材料及び貯蔵品	38,746	32,912
その他	25,556	92,077
貸倒引当金	△777	△234
流動資産合計	1,910,073	1,960,408
固定資産		
有形固定資産		
土地	477,453	477,453
その他(純額)	156,240	149,485
有形固定資産合計	633,693	626,938
無形固定資産		
15,055		12,568
投資その他の資産		
その他	75,403	75,878
貸倒引当金	△14,226	△13,170
投資その他の資産合計	61,177	62,708
固定資産合計	709,925	702,216
繰延資産	2,981	2,765
資産合計	2,622,980	2,665,390
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	518,150	602,206
短期借入金	259,620	249,627
前受金	435,900	364,575
未払法人税等	15,915	23,981
製品保証引当金	32,243	32,164
賞与引当金	21,376	28,688
その他	119,459	122,935
流動負債合計	1,402,664	1,424,178
固定負債		
社債	171,400	157,100
長期借入金	460,087	340,270
引当金	16,545	17,835
その他	87,220	82,167
固定負債合計	735,252	597,372
負債合計	2,137,917	2,021,551

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,332,945	1,332,945
資本剰余金	131,387	131,387
利益剰余金	△1,095,400	△937,500
自己株式	△5,623	△5,623
株主資本合計	363,309	521,208
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9,437	△8,560
土地再評価差額金	131,191	131,191
評価・換算差額等合計	121,753	122,630
純資産合計	485,062	643,839
負債純資産合計	2,622,980	2,665,390

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,662,062	1,686,382
売上原価	1,282,179	1,171,453
売上総利益	379,883	514,928
販売費及び一般管理費	317,486	398,537
営業利益	62,396	116,390
営業外収益		
受取利息	44	2
物品売却益	391	733
為替差益	1,381	7,555
受取地代家賃	—	3,960
その他	2,630	358
営業外収益合計	4,446	12,610
営業外費用		
支払利息	8,164	3,964
その他	808	1,131
営業外費用合計	8,972	5,095
経常利益	57,870	123,905
特別損失		
固定資産除却損	222	—
特別損失合計	222	—
税引前四半期純利益	57,647	123,905
法人税、住民税及び事業税	10,658	17,806
法人税等調整額	—	△51,800
法人税等合計	10,658	△33,993
四半期純利益	46,989	157,899

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	57,647	123,905
減価償却費	17,858	15,470
引当金の増減額(△は減少)	7,959	8,059
受取利息及び受取配当金	△359	△232
支払利息	8,164	3,964
売上債権の増減額(△は増加)	△95,570	115,500
たな卸資産の増減額(△は増加)	△194,948	△94,839
仕入債務の増減額(△は減少)	175,698	72,116
その他	△12,531	3,811
小計	△36,081	247,756
利息及び配当金の受取額	359	232
利息の支払額	△6,857	△3,972
法人税等の支払額	△4,901	△12,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	△47,480	231,759
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	18,000	—
定期預金の預入による支出	△18,600	—
有形固定資産の取得による支出	△16,438	△6,362
無形固定資産の取得による支出	△1,474	—
投資有価証券の取得による支出	△32,028	△300
その他	2,338	△69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,202	△6,731
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△30,000	—
長期借入れによる収入	370,000	—
長期借入金の返済による支出	△134,746	△129,810
社債の償還による支出	—	△14,300
自己株式の取得による支出	△26	—
その他	△5,142	△5,661
財務活動によるキャッシュ・フロー	200,085	△149,771
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	104,402	75,256
現金及び現金同等物の期首残高	878,038	664,426
現金及び現金同等物の四半期末残高	982,440	739,682

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社はプラスチック成形機事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	963,279	5.7
ブロー成形機事業	211,574	△67.9
リサイクル装置事業	13,088	△72.2
合 計	1,187,941	△26.5

(注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	911,701	43.7	627,956	17.0
ブロー成形機事業	287,333	△75.1	725,570	△35.5
リサイクル装置事業	21,860	67.7	11,422	17.8
合 計	1,220,894	△32.3	1,364,948	△18.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	909,079	40.1
ブロー成形機事業	490,334	△32.3
リサイクル装置事業	13,088	△72.2
メンテナンス事業	273,880	13.0
合 計	1,686,382	1.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。